

## 2. ユニバーサルデザインの視点でのまちづくりの取組

さまざまな人々が“自由に”“快適に”“安心して”  
“楽しく”“わかりやすく”活動できる都市空間づく  
りを進めるために、まちを利用するつかい手（利用  
者、居住者）の視点からまちづくりの取組を提案し  
ます。

居住者、来街者、健常者、高齢者、障害者  
子ども、外国人など  
さまざまな人々の生活・多様な活動  
（暮らし、働き、学び、遊ぶ）

### ユニバーサルデザインの 視点でのまちづくり

—誰もが移動しやすく、利用しやすく、  
わかりやすいまちに—

さまざまな人々の  
新宿の都市空間における

移動 利用  
情報

#### 基本目標 1 誰もが自由に歩ける 都市空間づくり

新宿のまちを誰もが自由に歩き回れ  
るように、連続的かつ回遊性の高い歩  
行空間のネットワーク化を図ります。

#### 基本目標 2 誰もが快適に過ごせる 都市空間づくり

新宿のまちを誰もがゆったりと行動  
できるように、まちのなかのゆとり空  
間の充実や、美しいまちの形成を図り  
ます。

#### 基本目標 3 誰もが安心できる 都市空間づくり

新宿のまちで、誰もが安心して行動  
できるように、歩行空間等の安全性を  
高め、安全・安心なまちの形成を目指  
します。

#### 基本目標 4 誰もが楽しめる 都市空間づくり

新宿のまちの豊かさを誰もが味わ  
えるように、まちの魅力を高めます。

#### 基本目標 5 誰にでもわかりやすい 都市空間づくり

新宿のまちの移動や利用を支援する、  
わかりやすい情報提供を行います。

取組 1：駅周辺での移動の連続性を確保し、自由に歩けるようにする

《駅周辺の回遊性の向上》

取組 2：さまざまな歩行者のために十分な空間を確保し、ゆったりと歩けるようにする

《歩行空間の充実》

取組 3：上下階の移動や地下街などの立体的な都市空間の移動を、負担が少なくスムーズにできるようにする

《立体的な連続性の確保》

取組 4：道路から建築物などに不自由なく入れるようにする

《接続空間における連続性確保》

取組 5：自動車による交通負荷を軽減し、さまざまな人々が安全に歩けるようにする

《自動車交通の整序化による歩行空間の確保》

取組 6：まちを美しく保ち、みどり豊かで快適に利用できる空間を形成する

《美しくうるおいのある都市空間の形成》

取組 7：さまざまな人々に配慮した快適な歩行空間を確保する

《ゆとりある歩行空間確保》

取組 8：混雑する駅やバスターミナルでも、快適に利用できる空間を確保する

《交通結節点の利便性や快適性の向上》

取組 9：都市空間を活用・改善して、まちの防災力を高める

《防災性の高い都市環境の形成》

取組 10：歩車分離されていない道路などでは、自動車の交通を制限し、歩行者が安心して歩けるようにする

《歩行者優先の道路空間形成》

取組 11：公共施設と民間施設の連携により、まちを歩くことの安心感を高める

《民間のトイレやエレベーター活用による都市空間のシームレス<sup>※</sup>化》

取組 12：防犯に配慮した都市空間の改善を行い、まちの防犯力を高める

《防犯性の高い都市環境の形成》

取組 13：歴史や文化、個性など、まちの魅力に容易にアクセスできる配慮をする

《魅力あるまちの回遊性の向上》

取組 14：道路や広場などの公共的な空間を活用して、さまざまな人々の交流を創出する

《空間の活用・演出によるにぎわい創出》

取組 15：新宿のまちをわかりやすく伝える情報提供を行う

《わかりやすい案内・誘導》

取組 16：利用者のさまざまな特性に配慮して、わかりやすい情報提供を行う

《利用者特性に配慮した案内・誘導》

# 《新宿区の『ひと』の多様性》

## □動作の特性□

高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 移動にかかわる筋力、視覚、聴覚などの機能が低下し移動の負担が大きくなります。</li> </ul>
肢体不自由者 (車いす使用者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 階段、段差などがある経路の移動ができません。</li> <li>□ 幅が狭いと通行や施設の利用ができません。</li> <li>□ 手の届く範囲が狭く、目線が低い。</li> <li>□ 座席より前に足のせがあるため、接近できません。</li> <li>□ 上肢に麻痺がある場合は、機器の操作なども困難です。</li> </ul>
肢体不自由者 (車いす以外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 階段の上り下りや、長い距離の移動、長時間立っていることなどが困難です。</li> <li>□ 身体のバランスを崩しやすいです。</li> </ul>
内部障害者 <small>(心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸機能の障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を持つ人の総称)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 外見からは障害があることがわかりにくい場合があります。</li> <li>□ 疲れやすく、長い距離の移動や長時間立っていることが困難です。</li> </ul>
視覚障害者 (全盲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 視覚による空間認識や情報取得ができません。</li> <li>□ 転落や追突、飛び出し防止など、安全性の確保が必要です。</li> </ul>
視覚障害者 (弱視)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 視覚による空間認識や情報取得が困難です。</li> <li>□ 転落や追突、飛び出し防止など、安全性の確保が必要です。</li> </ul>
視覚障害者 (色覚障害※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 外見からは障害があることがわかりにくい場合があります。</li> <li>□ 色名を使ったコミュニケーションが困難です。</li> </ul>
聴覚・言語障害者	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 外見からは障害があることがわかりにくい場合があります。</li> <li>□ 音声による情報の入手や、言葉によるコミュニケーションが困難です。</li> </ul>
知的障害者 精神障害者 発達障害者 高次脳機能障害者	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 知的障害：移動やコミュニケーションに時間がかかったり、情報量が多いと混乱する場合があります。</li> <li>□ 精神障害：不安を感じたり緊張しやすい人がいます。てんかんの発作は、安全な場所であれば休めば回復する場合があります。</li> <li>□ 発達障害：運行掲示板やサインなどからの情報の取得が困難だったり、急な予定の変更に対処できなかったりする場合があります。</li> <li>□ 高次脳機能障害：コミュニケーションが困難であったり、疲れやすく患者のスピードが遅くなるなど一人ひとりさまざまです。外見からはわかりにくい場合があります。</li> </ul>
妊娠中の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 外見からは妊娠中であることがわかりにくい場合があります。</li> <li>□ 階段の上り下りや、長い距離の移動、長時間立っていることなどが困難です。</li> <li>□ 身体のバランスを崩しやすいです。</li> <li>□ 急に具合が悪くなる場合があります(つわりの時期など)。</li> </ul>
乳幼児連れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ベビーカー使用者の場合、階段などの利用が困難です。</li> <li>□ 乳幼児をおんぶまたは抱っこしている場合、身体のバランスを崩しやすいです。</li> </ul>
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 視線が低く視界が狭く、危険の察知が遅れます。</li> </ul>
外国人	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 日本語による情報の入手や、コミュニケーションができない場合があります。</li> </ul>
観光客 <small>(土地に不慣れであったり、重い荷物を持って移動するなど)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 土地に不慣れな場合があり、目的地までの正確な情報を得ることが困難であり、不安を感じる場合があります。</li> <li>□ 重い荷物(キャリーカート等)を持って移動する場合があります、階段の上り下りや長い距離の移動が困難です。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 一時的にケガをしている人：階段の上り下りや長い距離の移動が困難です。</li> <li>□ 一時的に体調の悪い人：判断力が低下し、コミュニケーションが困難な場合があります。また、まっすぐ移動できなかったり、体調が悪くなる場合があります。</li> </ul>

## □都市空間での配慮□

- 段差や歩きやすさに配慮した連続した歩行空間が必要です。
- 階段等を利用するのに困難を生じるために、利用しやすい場所にエレベーターやエスカレーター、スロープ等を設置し、移動の選択性を広げる必要があります。
- 長距離、長時間の歩行に困難が生じるため、都市空間のなかで休憩できるスペースの確保が必要です。
- 情報を的確に理解しにくくなるため、案内では文字の大きさやピクトグラム※などわかりやすい配慮が必要です。

- 利用したい施設まで段差がなくアプローチできることが必要です。
- 通路やトイレには十分な幅、回転できる広さなどが必要です。
- 設備の利用にあたっては、適切な高さや接近するための踏み込みなどへの配慮が必要です。

- 杖の振り幅があるので、出入口や通路の十分な幅が必要です。
- 松葉杖利用者の場合、トイレや段差などに手すりが必要です。

- オストメイト※対応トイレが必要で。
- 休憩できる場所や階段等への手すりの設置に配慮する必要があります。

- 視覚障害者誘導用ブロック、音声等による案内および点字による情報提供が必要です。
- 道路上の視覚障害者誘導用ブロックの連続性を確保する必要があります。
- 杖の振り幅があるため、出入口や通路の幅などに配慮が必要です。

- 情報の表示位置や、文字の大きさやフォント、地色とのコントラストなどへの配慮が必要です。
- 視覚障害者誘導用ブロックおよび音声等による案内や情報提供が必要です。

- 特定の色の区別が困難（例：紫と青、緑と茶色、赤と茶色、水色とピンク、灰色と淡い水色、薄緑など）なため、案内を色で区別する場合には配慮が必要で、形などでの識別が有効です。

- 視覚による情報伝達の表示等は、人の行動に合わせて連続的に整備するよう配慮が必要です。
- 緊急時等では、視覚によるほか振動などにより当事者へ伝達できるよう配慮が必要です。
- 視覚による設備機器類の設置に合わせ、情報伝達をより正確に行えるよう、筆談や手話等のコミュニケーション手段の活用に配慮が必要です。

- 言語による意思伝達の不足を補う手段として視覚的な手段（絵、文字、写真、実物の提示、動作で示す等）に配慮する必要があります。
- 機器などはわかりやすく操作しやすいものとする必要があります。
- 休憩できる場所を設けるよう配慮する必要があります。

- 階段の昇降などが困難であるため、特に長い移動、上下移動に配慮する必要があります。
- 妊婦は足元が見えない、前かがみの姿勢などが難しいなどの動作困難があることに配慮する必要があります。

- ベビーカー等の利用に配慮し段差を設けないことが必要です。
- おむつ交換や授乳のための施設が必要です。
- 乳幼児をかかえて移動する場合など、休憩ができる場所を設けるよう配慮が必要です。

- 低い位置からの視認性や操作性への配慮が必要です。
- 図示や記号化などわかりやすい情報提供の配慮が必要です。

- 特にサイン等では外国語標識が必要となります。
- 図示や記号化等わかりやすい情報提供の配慮が必要です。

- サイン等による目的地までのわかりやすい情報提供や、人のサポートが必要です。
- 階段の昇降や長距離・上下の移動などが負担であるため、エレベーターやエスカレーター、休憩できるスペースを設ける必要があります。

- 階段の昇降や長距離・上下の移動などが負担であるため、エレベーターやエスカレーター、休憩できるスペースを設ける必要があります。

上表はあくまでも一例です。人により特性はさまざまであり、上記の例が当てはまらない場合もあります。

## 《新宿区の『地域特性』の多様性》

新宿区には49の鉄道駅があり、JR、地下鉄、私鉄網が整備され公共交通が充実しています。その一方で、坂が多く、高齢者や障害者などが移動しにくい面もあります。

また、新宿駅周辺のような通勤・通学者や買い物客、外国人が集まる地域、神楽坂のような観光地、落合のような住宅地など、さまざまな人々がまちを移動し利用しています。

### 大学や専門学校が多く立地

学習院女子大学、工学院大学、東京理科大学、早稲田大学など、新宿区内には多くの大学が立地しています。専門学校も多く立地しています。

### <中井駅周辺>

#### みどり豊かな急坂が多く存在

中井駅周辺は西落合方面から神田川に向けて斜面を形成しており、幅が狭く急な坂が多くあります。一の坂から八の坂まで名づけられ、住民に親しまれています。その一方で、高齢者や障害者などにとっては、移動の負担が大きくなっています。



### <早稲田周辺>

#### 路面電車が走る地域

新宿区にはかつて10路線の路面電車が走っていました。現在は都営荒川線の面影橋駅と早稲田駅の2駅があり、地域に密着した交通機関として利用されています。



### <高田馬場駅周辺>

#### 福祉関連施設の多い地域

障害者施設や点字図書館等の福祉関連施設が数多く立地しています。高田馬場駅を中心とした一体は、バリアフリー\*のまちづくりを重点的に進めている地域(重点整備地区)です。



### <中井駅～西落合周辺>

#### 古き良き面影を残す住宅街

大正期に開発された住宅地「目白文化村」、昭和初期に耕地整理が行われた西落合三、四丁目等は、西武線の開通を受けた宅地開発の歴史を物語る古き良き面影を残す住宅地となっています。



凡例	
	広域幹線道路
	地域幹線道路
	地区内主要道路
	首都高速道路(○はランプ)
	鉄道
	地下鉄(*都電荒川線を含む)
	地下鉄副都心線整備促進
	西武新宿線複々線化事業
	駐車場整備地区
	駅周辺整備の促進
	交通バリアフリー重点整備地区



鉄道・道路網(都市交通整備方針図)

[出典:新宿区都市マスタープラン]

### <神楽坂周辺>

#### 風情ある江戸情緒を残すまちなみをもつ地域

神楽坂周辺は寺社や文化財が多く、神楽坂通りから一步裏に入ると地割りや路地など、江戸時代の形態を今も残しており、黒塀の続く石畳の風情あるまちなみを形成しています。その一方で、路地が多く車いす使用者が通行しにくい場合があります。



### 病院が数多く立地

東京女子医科大学病院、慶応義塾大学病院、東京厚生年金病院など、12の救急医療機関が立地しています。

高齢者等が病院に通う公共交通や道路の移動アクセスの円滑化が必要です。

### 坂が多く存在

新宿区は、台地に低地が入り組んでいる地形であり、多くの坂があります。

高齢者や障害者等にとっては、移動の負担が大きくなっています。

### <西新宿周辺>

#### 30棟を超える超高層ビル

都庁をはじめ、区内のほとんどの超高層ビル(100m以上のビル)は西新宿周辺に集中しています。

西新宿周辺は道路、建築物が立体的な構造になっており、上下移動に伴うため高齢者等には負担があります。



### <新宿駅>

#### 日本を代表する都市の拠点

新宿駅は、JRや地下鉄、私鉄とさまざまな列車が乗り入れており、1日あたり約369万人の乗降客数を有する駅です。

駅構内や駅は混雑していて、待ち合わせや休憩する空間が不足しています。また、鉄道の乗り換えや地下街など、慣れない人にはわかりにくい構造になっています。

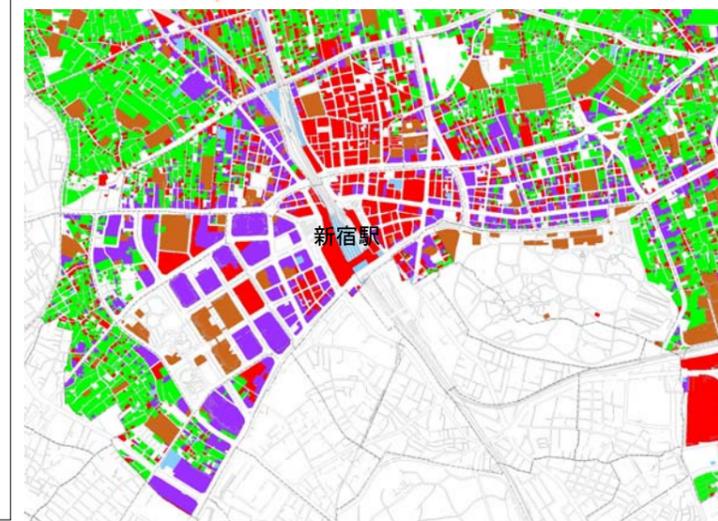


### <新宿駅東口周辺>

#### 個性ある繁華街が集積

新宿駅東口周辺は百貨店が集中し買い物に便利だけでなく、文化・芸術スポットと飲食店等が混在する歌舞伎町、狭小ながら雰囲気のある店舗が並ぶゴールデン街など、多様な性格をもったエリアです。

高齢者や障害者、外国人などさまざまな人々が安心して買い物や観光ができるような配慮が必要です。



用途凡例	
	公共系
	業務系
	商業系
	住宅系
	工業系
	行政界
	都・市・東京都の区界
	大字・町界

商業・業務施設が集積する新宿駅周辺(建物用途別現況)  
[出典:新宿区の土地利用2008]

(※巻末に用語の説明があります。)

# 基本目標 1 誰もが自由に歩ける都市空間づくり

# 基本目標 2 誰もが快適に過ごせる都市空間づくり

# 基本目標 3 誰もが安心できる都市空間づくり

# 基本目標 4 誰もが楽しめる都市空間づくり

# 基本目標 5 誰にでもわかりやすい都市空間づくり

## 《取組の見方》

